

◆ 今週のコメント

- ・ **デング熱**の報告が1例(男性, 20歳代)あります。推定感染地域は国外(カンボディア)で, 推定感染経路は蚊です。本年の累積報告数は7例で, 平成11年4月に全数把握対象となって以降, 最多になっています。全国でも, 平成11年4月以降最多であった, 平成22年に次ぐ報告数となっています。
- ・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は2.78(114例)で, 前週(1.73)よりも増加しています。今週は10歳以上が33.3%(38例)を占めており, 小学生高学年以上の年齢での報告が目立ちます。
- ・ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は0.73(30例)で, 前週(0.46)よりも増加しています。本年第19週(5月7日～5月13日)以降, 過去5年平均値を上回る状態で推移しています。

○京都市及び全国のデング熱の年間累積報告数の推移

	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24
京都市	5	2	4	3	7
全国	104	93	244	112	159

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.10(45例)で, 第34週(8月20日～8月26日)以降, 6週連続で増加しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 3例(肺結核 1例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 2例)うち喀痰塗抹陽性 なし
【1月以降の累積報告数 339例(肺結核 137例, その他結核 75例, 潜在性結核感染者 127例)うち喀痰塗抹陽性 69例】
- ・ 四類: デング熱 1例【1月以降の累積報告数 7例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.78	114
	② RSウイルス感染症	1.10	45
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.73	30
	④ 突発性発しん	0.63	26
	⑤ ヘルパンギーナ	0.44	18
眼科	流行性角結膜炎	0.80	8

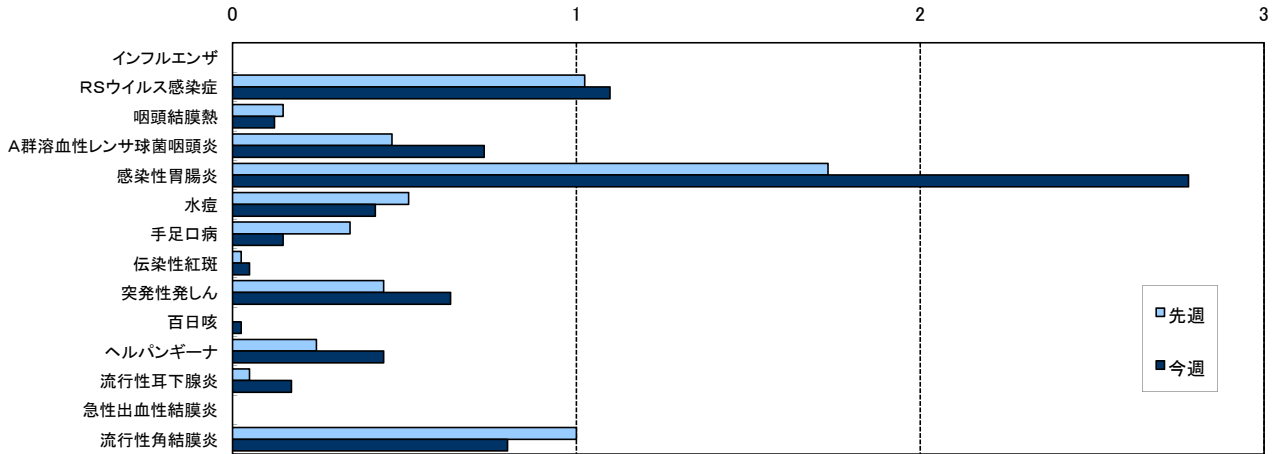
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

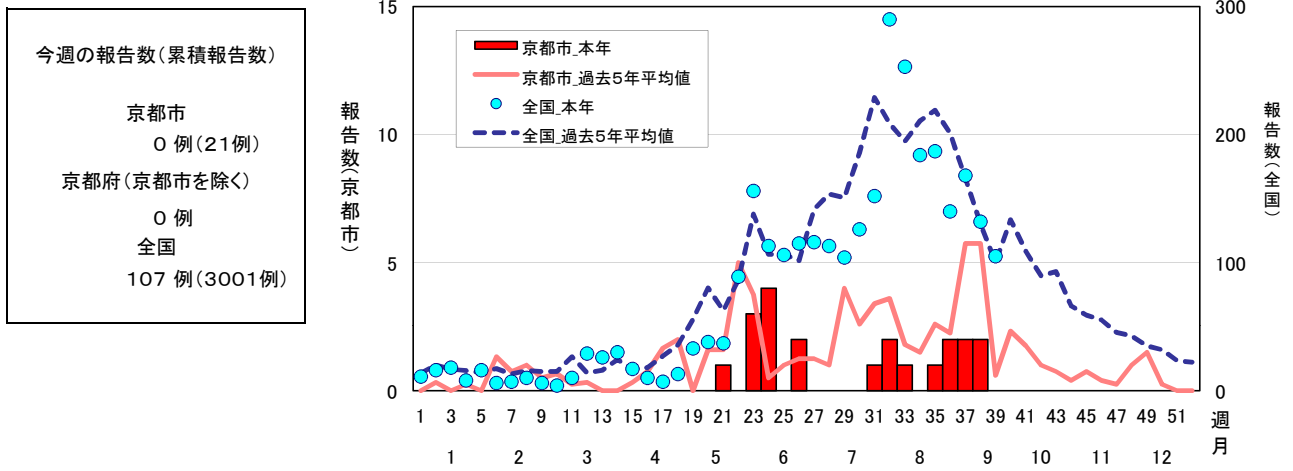
(注) 京都市のデータは, 平成24年10月4日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第39週)と先週(第38週)の定点当たり報告数の比較



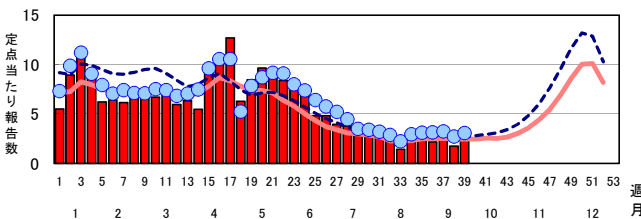
2 腸管出血性大腸菌感染症の推移



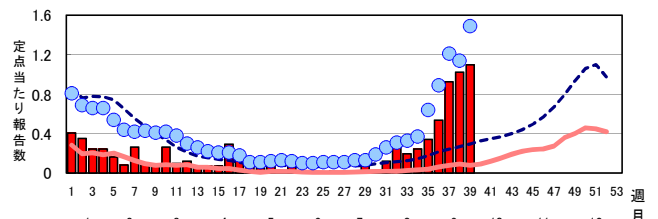
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

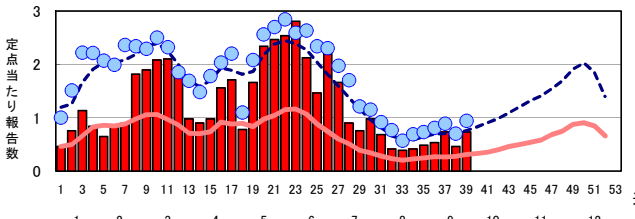
1 感染性胃腸炎



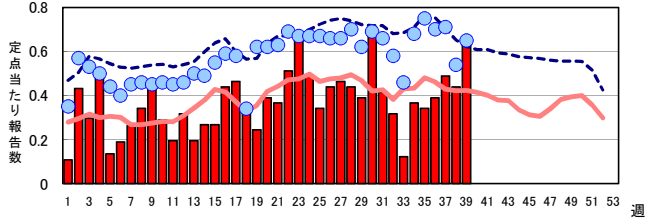
2 RSウイルス感染症



3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

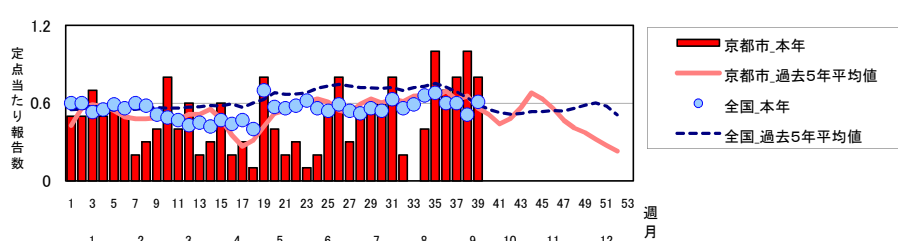


4 突発性発しん



<眼科定点>

流行性角結膜炎



第39週(9月24日～9月30日)トピックス: <RSウイルス感染症>

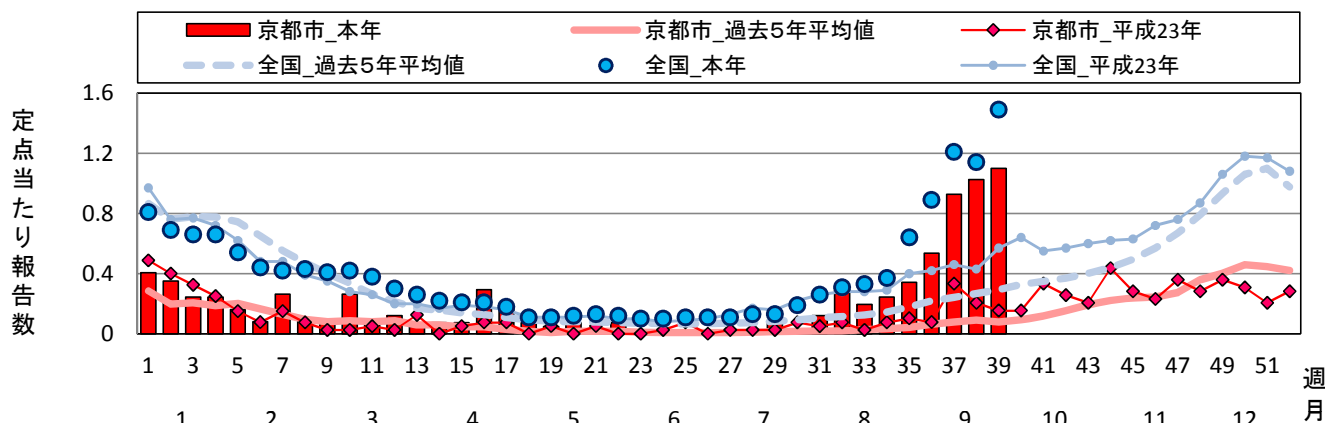
RSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.10(45例)で、第34週(8月20日～8月26日)以降、6週連続で増加しています。「感染症法」において定点把握対象に指定された平成16年以降の定点当たり報告数では、平成22年第49週(12月6日～12月12日)に並び、最多となっています。今後の動向にご注意ください。

全国の定点当たり報告数(1.49)は、前週(1.14)より増加しているものの、都道府県別にみると、一部で減少しています。

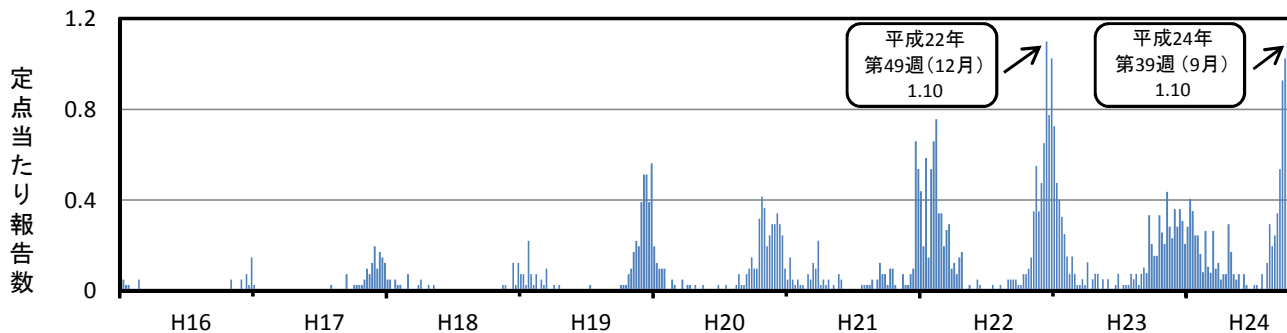
京都市衛生環境研究所において病原体定点からの検体を検査した結果、RSウイルスは、8月に4件、9月に1件分離されています。(平成24年10月5日現在)

なお、平成23年に病原体定点から搬入された、比較的呼吸器症状の強い小児180名(入院期間は4日から9日、約8割が気管支炎または気管支肺炎で入院)の咽頭ぬぐい液について、通常おこなっている分離より感度の高いRSV-A、RSV-Bの遺伝子検査(PCR)を行った結果、RSV-A 17名、RSV-B 13名、合計 40名が陽性を示しました。この中には迅速診断キット陰性例が3名含まれていました。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



本市の平成16年以降の定点当たり報告数の推移



都道府県別定点当たり報告数の推移

